

事業所名 児童発達支援 ぱずる(児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日

R6年

12月

1日

法人(事業所)理念	～一人ひとりがパズルのピースとして～ 「やりたい」「なりたい」「叶えたい」等、一人ひとりの想いを大切に、目標を叶えられるサポートを行っていきます。						
支援方針	運動療育、就労体験を中心に行っていきます。様々な経験を積み自信へと繋げ、興味や関心の幅を広げていきます。 保護者の思いに寄り添い、子どもの自立に向けた支援を行っていきます。						
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の手洗い、うがい、検温を実施し、一人ひとりの健康状態を把握していきます。</li> <li>・苦手な野菜を育てたり、触れたりすることで偏食の軽減へと繋げていきます。</li> <li>・清潔、食事、衣服の着脱、排泄等、基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢を保持するために必要な筋力が付くよう体幹や体力をつけていきます。(粗大運動)</li> <li>・課題の中に運筆、制作、お箸、はさみ、積み木等を取り入れることで力加減や手指の巧緻性を高めていきます。(微細運動)</li> <li>・感覚遊びを行うことで、想像力や思考力を高めていきます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールを視覚的に掲示することで、概念の取得を図ります。</li> <li>・時計やタイムタイマーを用いて、活動の切り替えを視覚と聴覚にて促します。</li> <li>・外出の機会を作り、季節感を養ったり、交通ルールを理解したりできるよう支援します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢児交流を行い、個別、集団での会話を通して伝わる楽しさ、相手の話を聞く力を身につけていきます。</li> <li>・SSTを取り入れ、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりする機会を作っていきます。</li> <li>・しりとりをしたり絵本、単語カードを用いて語彙を増やしていきます。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや活動の中で勝ち負けが生まれても楽しく参加できる力や他児を応援する気持ちを養っていきます。</li> <li>・活動を通して模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。</li> <li>・スケジュールやルールの提示を守りながら活動に参加できるよう認知トレーニングを行います。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡ノートにてその日の活動内容や児童の変化を細かく伝えていきます。</li> <li>・保護者の困り感に耳を傾けたり、成長の喜びを共有することで、信頼関係を築いていきます。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後からの療育時間に設定することで、保育所や幼稚園での集団生活や行事にしっかり参加できるよう配慮していきます。</li> <li>・行事等を考慮して療育日の調整を行います。</li> </ul>				
地域支援・地域連携	地域清掃や就労体験に参加することで、自分の町をより知る機会を作ると共に住みやすい環境を作っていきます。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、職員の勉強会を行っていきます。</li> <li>・社内外の研修にも積極的に参加することでスキルを高めていきます。</li> </ul>				
主な行事等	季節の行事(お花見、お月見、ハロウィン、初詣、節分等) その他、年2回程度、保護者を呼びイベント(夏祭り、クリスマス会等)を行います。						